

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス つばめ		公表日	2026/3/30		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		身体を使って遊びたい時には仕切りを作って遊べる環境とゆっくり過ごせる環境を整えています。	楽しくなって動きが激しくなる時もあるので、休憩を挟んだり遊び方を変えるなどして全員が安全に過ごせる環境を作っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		おもちゃの棚や本棚を置いて遊ぶ場所をわかりやすくしています。	バリアフリーの設備に関しては必要に応じて対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除と8月12月の大掃除をすることで清潔を保っています。仕切りを使って身体を使って遊べる場所と読書などゆっくり過ごせる環境を整えています。	設備の清掃なども定期的に行なっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋の設定はしていませんが、必要に応じて個別に使える環境を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		目標設定は常勤の職員がしていますが、振り返りに関しては広く意見を求めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を職員間で共有し改善を図っています。	今後とも保護者様のご意見や評価表のご意見を参考にまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		前回の振り返りを行う中で意見を聞くことで内容の把握や改善をしています。	普段からの職員間のコミュニケーションを増やし意見を言いやすい環境を作っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は行なっていません。	第三者の外部評価を実施していないので今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修やオンラインでの研修、資格に関する研修に参加をしています。内部研修では、虐待・身体拘束・防災に関する研修を行なっています。	外部研修やオンライン研修に積極的に参加をしていき職員の支援の質を高めていきたいです。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて掲載しています。	必要に応じて支援プログラムの内容を修正していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様に希望や要望を伺うことや相談支援事業所との連携を図ることでニーズなどを分析して作成を行なっています。	利用者様の個々のニーズに合わせて計画を立て作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画書作成に当たって5領域の項目に基づいての普段の様子の報告をもらいそれに沿って計画書を作成しています。面談後に各職員に内容を共有しています。	普段の様子を観察することで利用者様の支援の質を改善していきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は各職員と共有しています。	計画に関しては、随時加筆修正を行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		その日の活動内容などを書き込むフォーマットを使って記録をとっています。個別の内容に関してもフォーマットを用いて記録しています。	今後もフォーマットを用いて記録をとっていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域の項目を盛り込んで計画を作成しています。	今後とも具体的な支援内容を設定していけるようにしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月職員で案を出し合う活動を決めています。人気の活動もあるので適宜活動に入れています。	各職員の得意分野があるのでそれを活かして活動のバリエーションを増やしていきたいです。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じ曜日で活動内容が被らないように工夫をしています。	身体を使う活動などは内容が似てくることもありますが、ルールを変えたり場所を変えたりして固定化しないようにしていきます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	集団活動の時間と個別の時間を分けており、全員で集団活動が取り組めるように声掛けなどが行われています。個別時間では宿題を行うなど個々に合わせての支援を行っています。	活動に参加しにくい際には、原因を探り個々に合わせて参加するタイミングを見計らって参加できるように心がけていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	当日の活動の担当を決め、役割の分担を行なっています。予想されることを想定しながら動きの確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	緊急性が高いものに関しては終了後に打ち合わせ等を行っていますが、翌日に振り返りを行なっています。	各職員から気づいたこと、気になったことなどの情報を収集し共有を図ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録をとって各職員と情報の共有を行い検証・改善をしています。	今後も検証・改善をまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年に1回モニタリングを行いそれに基づいて個別支援計画書の作成をしています。	この期間以外にも必要に応じて見直しを行なっています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	将来的に地域で過ごしていく中で必要な活動を行なっています。地域交流では、公共交通機関を使つての外出をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	おやつを自分で選ぶことを毎回行っています。自身で選択・決定する機会を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	現状では、会議の参加する機会はありませんでした。	今後必要に応じて相談支援事業所と連携して会議などの参加をまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	相談できる連携医療先があります。学校や保育園、他事業所との連携は相談支援事業所を通して連携をしています。	今後も必要に応じて連携を図っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校から下校時刻の表をいただいで確認をしている学校もあります。担任の先生から体調のことなど特記事項があれば引き継ぎを行なっています。	教室まで行けない学校もあり引き継ぎが難しい学校もあります。できる限り引き継ぎ等を行える環境を整えていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談支援事業所と連携して情報の共有をしています。	今後も相談支援事業所との連携を図って相互理解を深めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		小学生・中学生のお子様が多く利用されていますので障害福祉サービス事業所に移行される利用者様がいらっしゃらないので今後移行があれば相談支援事業所と連携して情報の提供をしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	児童福祉センターとの連携は図っています。	今後必要に応じて、助言や研修に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域のイベントに参加しています。	学童や児童館との交流機会はありませんでしたので、今後交流する機会を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		現状では参加をほとんどしていませんので機会や要請があれば参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎時に保護者様にお伝えをしたりアプリを通して伝えています。また年2回の面談を通して理解を深めています。	送迎時や面談を通して共通理解を図ってまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族様が参加する研修などは実施できませんでした。今後は希望があれば開催に向けて調整を行います。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明をしています。負担額の変更等があればその都度説明しています。	今後も説明等を行なっていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	契約時に本人や保護者様の希望や要望をお伺いしてそれに基づいて計画書の作成や支援に活かしています。	希望や要望の変化に応じて対応していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	面談時に説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	必要に応じてアプリでの連絡や面談、電話でお話をさせていただいています。	今後も必要に応じて対応してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会やきょうだい様が交流するイベント等は開催できませんでした。今後は開催に向けて検討してまいります。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様には些細なごでも相談していただくことをお伝えしています。連絡があった際には職員間で事実確認を行い対応をしています。	今後も電話やアプリを通して連絡していただくことをお伝えしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		アプリを通して日々の様子を文章と写真で送っています。保護者様からも連絡できるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分に留意して取り扱っております。職員の入職時にも研修を行なっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		契約時に保護者様からお子様の要望や希望などをお聞きし意思の疎通を図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現状では行なっていません。	地域の方を招いての活動などは行なっていません。機会があれば開催を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し事業所入り口に掲示しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回避難訓練を実施しています。業務継続計画の訓練も職員間で実施して居ます。	必要に応じて訓練内容や記載内容の変更を行います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者様から聞き取りを行い対応方法やかかりつけ医の連絡先を聞いています。	現状では発作等が起こったことがないですが対応できるように情報共有を行います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に保護者様から聞き取りを行い対応方法やかかりつけ医の連絡先を聞いています。	現状では発作等が起こったことがないですが対応できるように情報共有を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は策定しています。それに基づいた研修・訓練も行なっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画は策定しています。	安全計画の策定の周知をまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		委員会を設置し、怪我になりうる箇所や行動を検討して怪我などをしないように心がけています。	些細なごでも気づいていき事故防止に向けて努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修に参加や内部研修を行うことで適切な対応ができるように心がけています。また事業所内で委員会を設置しています。	今後も委員会が中心となって研修など適切な対応ができるようにしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束についての説明を行なっています。事業所内で委員会の設置をし研修も行なっています。	今後も委員会の会議や研修を行なっていきます。	